

NHK 経営委員会 御中  
NHK 新会長 初井 勝人様

初井勝人新会長就任会見の発言に抗議し報道機関の在り方を問う声明

2014年1月25日にNHK新会長の初井勝人氏が、就任会見で従軍「慰安婦」について「日本だけがやってたようなことを言われる。戦争をしているどこの国にもあった」と述べ、「慰安婦」問題を非常に軽視していることに対して、憂いと怒りをもって抗議致します。

他の国も行っていれば正当化される事柄でないことは言うまでもなく、事実と異なることを新会長が会見で述べられたことに、歴史認識の危うさも感じざるを得ません。第2次世界大戦で、軍が「慰安婦」制度に組織的に関与していたのは日本とドイツです。日本の場合、「慰安所」の計画・設置・あっせん・管理等に軍が全面的に関与したことは、政府や旧陸海軍資料でも明らかであり、1993年に当時の官房長官が旧日本軍の関与を認めた上で「強制的な状況下での痛ましいものであった」と、いわゆる河野談話をもって政府として謝罪をしています。

また、初井勝人新会長は「韓国が、日本だけが強制連行したみたいなのを言ってるから話しがややこしい。日韓条約で解決している」と述べていますが、「慰安婦」の証言等により真相が明らかになってきたのは1990年代以降のことであり指摘は当たっておらず、発言が「慰安婦」の心を更に痛めさせたであろうことを悲しく思います。

報道機関の使命は何でしょうか。敢えて民衆の側から見識を問われることなく、自律を持って自己規制を成し、時の政府が偏った見解に陥る際にそれを正す役割りが貴協会にあるのではないのでしょうか。NHK経営委員であられる長谷川三千子氏も某新聞に寄せたコラムで「女は家で育児が合理的」、「『性別役割分担』は哺乳動物の一員である人間にとって、きわめて自然」と主張、それに対して様々な議論が巻き起こっていると聞き及んでいます。初井新会長の発言は、あくまでもNHKの方針ではなく、長谷川委員の発言も委員会の総意でないと言われてますが、マスコミを介しての発言に個人的見解という言い訳が成り立つのか疑問です。公共放送局である貴協会が、不確かな歴史認識発言をする新会長を立てられたことや経営委員も国際社会の潮流に逆らう発言をすることで、共に自ら国益を損ねる方向に陥っていることを大変残念に思います。今一度、報道の原点に立ち帰り、受け手が「これぞ無くてはならぬ報道局」と思える在り方をこの機会を逃すことなく、模索して頂きたいと思えます。

私共は、その生涯をひどく傷つけられた「慰安婦」の苦悩に心を馳せ、性差別を容認することなく更なる被害者を生じさせない社会を創造すべく活動をしていきます。国際社会の安定とより良き発展の為にも、貴協会が一連の出来事を重く受け止め、発言によって傷つけた方々に謝罪をもって誠意を示してくださるよう要望します

2014年1月29日

日本バプテスト連盟 性差別問題特別委員会